



2022年1月28日

ネットゼロ・アセットマネージャーズ・イニシアティブ（NZAM）への参画について

SOMPOアセットマネジメント株式会社（代表取締役社長 小嶋 信弘、以下「当社」）は、この度、ネットゼロ・アセットマネージャーズ・イニシアティブ（以下、「NZAM」）への参画を表明しました。

NZAMは2020年12月に発足した資産運用会社の国際的なイニシアティブで、参画した機関は2050年までに投資ポートフォリオの温室効果ガス（GHG）排出量をネットゼロ（※）にするコミットメントを行います。2022年1月5日時点で、世界で220機関が参画し、総運用額は約57兆ドルに及びます。

当社は、「中長期の本源的投資価値を投資判断基準とするアクティブ・バリューマネージャー」として、財務情報のみならず、ESG 情報などの未財務情報についても的確に把握し、投資先企業の投資価値を評価するESG インテグレーションに長年取組み、1999年9月に運用を開始した「損保ジャパン・グリーン・オープン（愛称：ぶなの森）」を初めとして、ESGの観点をより強調した運用商品も積極的に展開してきました。

NZAMが目指す2050年GHGネットゼロというコミットメントは、「良質なアクティブ運用を提供することを通じて「投資先や社会、経済全体の持続的発展に寄与する責任投資に努める」とする当社の責任投資の指針にも合致するものです。

当社は、GHG排出量が多い企業に対して協働エンゲージメントを行うClimate Action 100+を初めとして、これまでもESGやスチュワードシップに関する国際イニシアティブへの取組みを行ってきました。さらに、NZAMへの参画を機に、スチュワードシップ活動の一層の取組み推進、運用力の強化に努めることで、持続可能な社会形成に貢献し、お客さまの中長期的なリターンの向上を目指していきます。

※「2050年までに投資ポートフォリオのGHG排出量を実質ネットゼロ」にすることの意味
2015年に開催されたCOP（気候変動枠組条約締結国会議）21では、産業革命以降の世界の平均気温の上昇を2度未満に抑えることで合意（パリ協定）しましたが、その後のCOP26では1.5度未満に抑えることが求められるようになっていきます。この達成には2050年時点での脱炭素化が必要であり、NZAMのコミットメントと整合的なものとなっています。

SOMPOグループでは、「“安心・安全・健康のテーマパーク”により、あらゆる人が自分らしい人生を健康で豊かに楽しむことができる社会を実現する」という「SOMPOのパーパス」の実現に向けて、2050年度までにGHG排出量を実質ゼロとする目標を掲げ、人と自然が調和した包摂的でレジリエントなカーボンニュートラル社会の構築に貢献してまいります。

以上

【問い合わせ先】

SOMPOアセットマネジメント株式会社

責任投資推進室 角田・長束 TEL 03-5290-3467 snam_rio@sompo-am.co.jp

経営企画部 泉川・伊藤 TEL 03-6895-3676